

シーンⅢ－8 温暖化防止森林づくり担い手確保事業

事業目的

間伐等の森林整備を加速させるため、森林施業の集約化を実践する高度な技能を有する地域リーダーを育成するほか、林業への就業希望者を対象として、就業相談や山仕事ガイダンスを通じて、就業機会の創出と雇用のミスマッチ解消を図ります。さらに、林業従事者の就労環境の改善と定着率向上に向けて、装備品や安全保護具等の購入助成、現場技能者の技能高度化を支援し、林業人材の育成確保に取り組みます。

事業効果

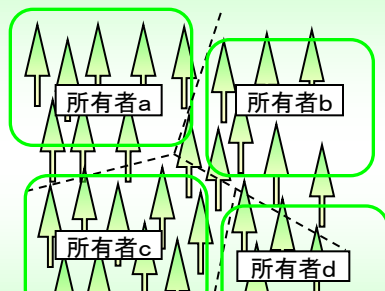
CO2削減効果	560t-CO2
その他(プランナー育成人数)	延べ20人

事業内容

- 平成27年度の事業費：8,388千円
- 実施主体：県、県林業労働力確保支援センター、県森林組合連合会、森林組合等
- 補助率：定額、1/2以内
- 事業内容及び事業量
 - (1) 宮城県森林施業プランナー養成事業
林業人材ステップアップ研修、間伐団地設定(5団地)
 - (2) みやぎの森林・林業インターンシップ事業
山仕事ガイダンス3回
 - (3) 就労環境改善事業 安全保護具等の整備に対する助成
 - (4) 新規就業支援事業 新規就労者への作業用機械の整備に対する助成
 - (5) 路網整備・木材生産技術の高度化研修



現状

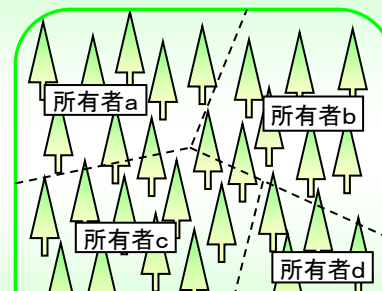


1戸当たりの平均保有面積は2.7ha→
単独の森林施業は非効率で採算割れ

零細で分散している森林所有者の森林の多くは間伐が未実施



税導入後のイメージ



零細所有森林を5ha以上に集約化→
効率的な森林施業で低コスト化

宮城県森林施業プランナーが活躍することで、零細で分散している森林を集約化して間伐を実施

